

笠間市田んぼの生きものワークショップ報告書

作成日：平成 25 年 7 月 2 日
一般社団法人日本在来種みつばち協会

【概要】

6月29日に笠間市上郷地区の「笠間みつばちの里」で田んぼの生きものワークショップを開催しました。このワークショップは一般社団法人日本在来種みつばち協会が主催、いばらき食と農のブランドづくり協議会が共催。また、笠間市、上郷地域うまい米づくり研究会、岩間上郷地域ホテル増やそうかいの協力を得て開催しました。

生きものワークショップを通して田んぼに親しんで貰うと共に、環境に敏感な日本ミツバチをシンボルとする「いきものたち」に優しい環境保全型農業を実践しているこの地域で、実際に田んぼの生きものたちの状況を確認し、この取組が地域全体の取り組みとして発展するように意見交換しました。

【日時】：平成 25 年 6 月 29 日（土） 10：00～

【場所】：茨城県笠間市上郷地区 笠間市体験学習館「分校」周辺（笠間市上郷 1742 番地 1）

【参加者】 東京からの参加者 20 名

上郷地区からの参加者、その他の関係者
スタッフ 高安和夫、五十畑みゆき、國分琳太郎
生きもの調査講師 林鷹央氏、徳永亜由美氏
上郷地区農家 生駒氏、他 20 名
笠間市農政課 田中課長、竹江氏
茨城県農村環境課 大塚氏、鈴木氏
茨城県中央農林事務所 菊田課長、小堤係長
総参加者 50 名

【開催内容】

8:00 参加者銀座パルプ会館集合

8:15 銀座出発

9:45 笠間市体験学習館到着



左:今回のツアーの拠点となる笠間市岩間体験学習館「分校」と参加者

10：00 ～生きものワークショップ開始

挨拶：高安、生駒氏、竹江氏 説明：林氏、徳永氏



左：説明をする講師の林氏 中：説明をする講師の徳永氏 右：話を聞く参加者

10：30～11：40 グループに分かれ、田んぼの生きもの調査

参加者を2班に分かれ、林講師、徳永講師の指導の基に虫カゴや網を使い、カエルの個体数調査を行い、次に田んぼの生きもの調査、水路の生きもの調査、野草の調査を行い、サンプルを持ち帰った。

・A班 畔のカエルの数調査 講師：林鷹央



左：カエル調査を行う林氏と参加者 中：田んぼに入り調査 右：近くの水路での調査

・B班 田んぼの生きもの調査 講師：徳永亜由美



左：徳永氏から説明を受けるB班 中：カエル調査をする参加者 右：田んぼに入り調査

11：40～12：00 片付け

12:00～13:15 生産者と交流食事会

お昼は分校で地元の食材を使った豚汁やカレー、豚の焼肉、サラダなどで、他にも長谷川果樹園のはちみつもあった。食事だけでなく、地元の野菜の販売もあった。



左：野菜の販売

中：羽釜で炊いたお米

右：食事をする参加者たち

13:30～15:30 田んぼの生きもの研修会 講師 林鷹央氏 徳永亜由美氏

林氏、徳永氏が午前の生きもの調査で各班が持ち帰った生物の特徴などを解説。



左：動物について解説する林氏

中：植物について解説する徳永氏

右：手にとって観察する参加者

林氏がビデオカメラで撮った映像を使い、ヘビやサギを解説。



左・中：プロジェクターで説明を受ける参加者

右：解説する林氏

講師と参加者との意見交換会



15 : 45～16 : 15 長谷川果樹園 果物摘み取り体験 (すもも)



16 : 20 上郷地区出発
全体挨拶 生駒氏、高安



18 : 00 銀座パルプ会館 到着解散